

証券コード9601

ついに完結!

22年分の、
ありがとう!!

第144期 中間報告書

(平成21年3月1日から平成21年8月31日まで)

釣りバカ日誌 20 ファイナル

西田敏行 浅田美代子 吹石一恵 塚本高史 松坂慶子 三國連太郎

加藤武 小野武彦 鶴田忍 中村梅雀 益岡徹 中本賢 笹野高史 谷啓 奈良岡朋子

岸部一徳 六平直政 平田満 角替和枝 かとうかず子 高畑淳子

監督:朝原雄三

プロデューサー:堀島光雄、高澤宏 原作:舟橋和郎(全20巻) 脚本:北見けんいち(小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本:山田洋次、朝原雄三
撮影:近藤史 美術:須江大輔 音楽:松田公三 照明:土山正人 録音:鈴木博 編集:石高秀一 監製:松竹映画 製作:松竹映画 製作:松竹映画
スチール:中野一徳 企画協力:日本映画振興会 協力:小学館、太田賢治、タイ精工工業、サッポロビール、@タックルペー、ASA 製作・配給:松竹株式会社

12月26日 お正月ロードショー!

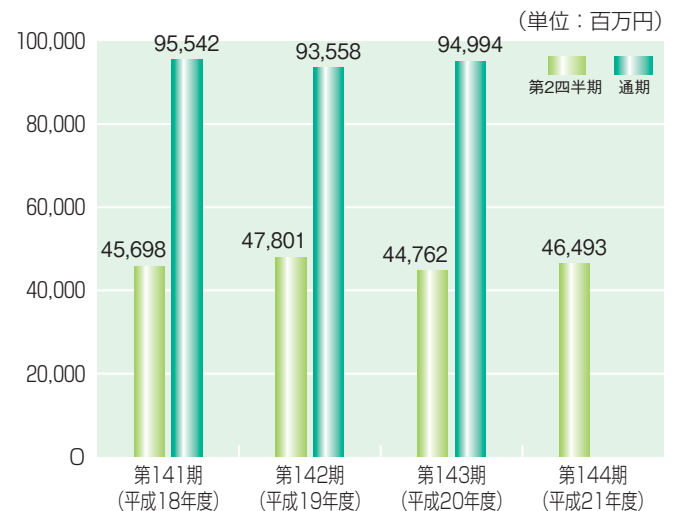
www.tsuribaka-movie.jp



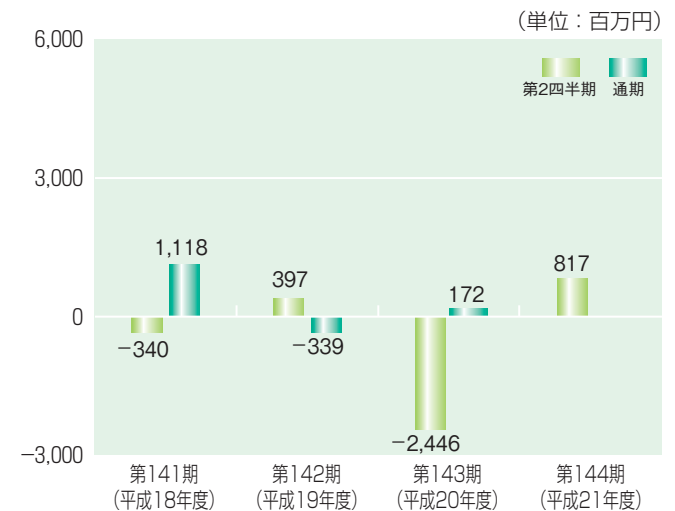
松竹株式会社

■ 連結決算ハイライト

売上高

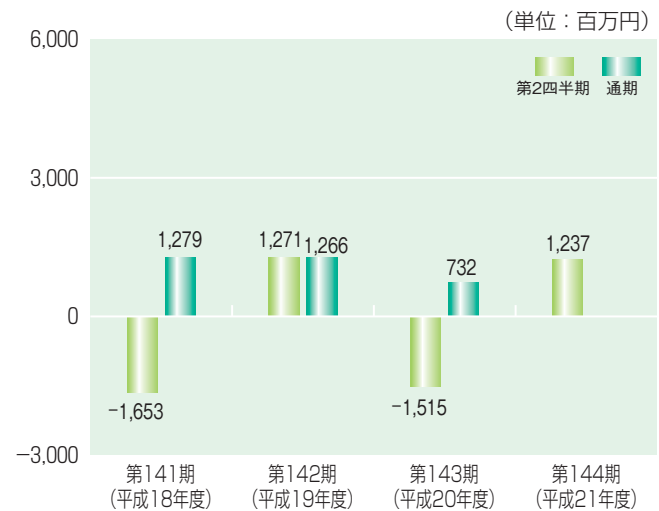


当期純利益

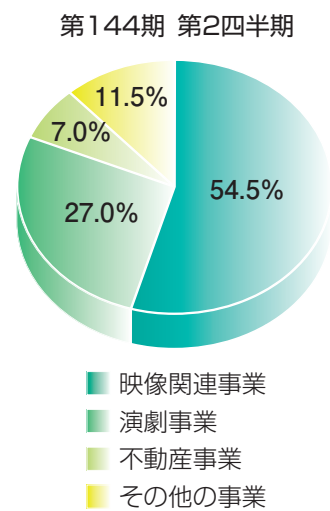


* グラフ内の「第2四半期」とは「第2四半期連結累計期間」のことを指します。

経常利益



事業別売上



■ 株主の皆様へ

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第144期第2四半期連結累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、対外経済環境の改善により徐々に持ち直しの動きがみられたものの、企業収益の大幅な減少に伴い、雇用・所得環境が悪化し個人消費も低迷する等、厳しい状況が続きました。

映画業界は、依然好調なテレビドラマの映画化やシニア向け作品等、邦画の健闘により興行収入は前年同期を上回りましたが、一方、洋画のヒット作が減少し、ビデオソフト業界の冷え込みも止まず、引き続き厳しい状況となりました。

演劇業界は、伝統文化の歌舞伎やミュージカルをはじめ、魅力ある演目や人気俳優による話題性の高い舞台が評価されました。また、一般演劇はお客様による取捨選択の目が厳しく、興行の格差が一段と顕著になってきており、お客様のニーズに応じた魅力ある作品の提供が強く求められております。

不動産業界は、企業の業績悪化から消極的な動きが主流を占めており、オフィス空室率の増加、賃料の下落など市況悪化が続いております。

このような状況のもと、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高46,493百万円（前年同期比103.9%）、営業利益1,945百万円（前年同期は営業損失1,209百万円）、経常利益1,237百万円（前年同期は経常損失1,515百万円）となり、特別利益20百万円、特別損失558百万円を計上し、四半期純利益は817百万円（前年同期は四半期純損失2,446百万円）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

■ 上半期の概況

映像関連事業

配給は、邦画4本、洋画1本、アニメ2本、シネマ歌舞伎2本を公開いたしました。昨年公開しました「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を受賞し、新宿ピカデリーを中心にロングランした結果、興行収入64.3億円（第2四半期連結累計期間興行収入は27.3億円）を売上げ、期首のスタートに勢いをつけました。また、「ヤッターマン」「GOEMON」「60歳のラブレター」が好成績をあげ、「HACHI 約束の犬」が好スタートを切る等、健闘いたしました。

興行は、昨年7月にオープンした新宿ピカデリーが1年間で動員160万人を超え、高稼働いたしました。同時に「おくりびと」の凱旋興行、「ヤッターマン」「ハリー・ポッターと謎のプリンス」等の動員も良く、昨年を上回る興行収入をあげました。

テレビ制作は、高視聴率を獲得した連続時代劇「必殺仕事人2009」を筆頭に、装いを新たにした「赤かぶ検事奮戦記」や、「鬼平犯科帳スペシャル5」「天才刑事 野呂盆六4」の人気シリーズもの等、5作品18本を制作いたしました。中でも、絵師歌麿を描いた「だましゑ歌麿」は、水谷豊の17年ぶりの時代劇として話題となりました。また、権利ビジネスでの番組販売も順調に稼働し、最新作「必殺仕事人2009」はじめ、「必殺シリーズ」のDVD化権販売は収益に大きく貢献いたしました。

映像ソフトは、「櫻の園ーさくらのそのー」「ブロードウェイ・ブロードウェイ コーラスラインにかけの夢」「釣りバカ日誌19 ようこそ！鈴木建設御一行様」「特命係長 只野

仁 最後の劇場版」「トミカヒーロー レスキューフォース 爆裂MOVIE ～マッハトレインをレスキューせよ！～」等の劇場公開作品に加え、テレビアニメの「ヤッターマン」「戦国BASARA」をシリーズで発売いたしました。ライブラリー作品では、昨年に引き続き「男はつらいよ40周年」企画として、「男はつらいよ」DVDボックスを通販限定で発売をして好評をいただき、収益にも貢献しました。また、映画公開50周年を記念して「人間の條件」DVDボックスを廉価発売し、反響呼びました。

テレビ放映権販売は、主力となる地上波放送向けに、「犬と私の10の約束」「河童のクゥと夏休み」「コーラスライン」等を販売いたしました。

海外向け作品販売は、米アカデミー賞外国語映画賞を受賞した「おくりびと」が、世界64ヶ国での公開が決まり、海外でもヒットを記録し、現在も公開している地域があります。また、映画「ハチ公物語」のリメイク作品である「HACHI 約束の犬」が日本で公開され、好評を博しました。

CS放送事業は、連結子会社の㈱衛星劇場において、昨年度より開始したHD放送の本格展開やIPTV放送を開始する等、高画質化とプラットフォームの多様化を進めました。

演劇事業

歌舞伎座は、「歌舞伎座さよなら公演」として、通し狂言「元禄忠臣蔵」の「三月大歌舞伎」、豪華顔ぶれの「四月大歌舞伎」「五月大歌舞伎」、「女殺油地獄」の河内屋与兵衛を片岡仁左衛門が一世代として勤めた「六月大歌舞伎」、坂東玉三郎・市川海老蔵顔合わせによる泉鏡花作品の再演が高い

評価を得た「七月大歌舞伎」、中村勘三郎を中心とした恒例の「八月納涼大歌舞伎」と、いずれも魅力ある演目と俳優で高収益をあげました。

新橋演舞場は、市川猿之助一門による「^{ひとりたびごじゅうさんづ}獨道中五十三驛」の「弥生花形歌舞伎」、ロンドンからの凱旋公演「NINAGAWA十二夜」、大地真央・今井翼共演の「ガブリエル・シャネル」、市川海老蔵が創り出す新作歌舞伎「石川五右衛門」が話題を呼び、好成績を収めました。

関西では、大阪松竹座にて、六月新橋演舞場に続く「NINAGAWA十二夜」凱旋公演が好成績を収め、藤山直美・西郷輝彦共演「^{おおきかこいじょうわ}大阪恋情話」や「関西ジャニーズJr. 大阪松竹座夏特別公演」が健闘いたしました。

南座は、「五月花形歌舞伎 通し狂言小笠原騒動」が好稼働いたしました。

その他の松竹主催公演は、1994年に始まり本年10回目を迎えるコクーン歌舞伎にて、4年ぶりの「桜姫」が更に練り上げられ、高い評価をいただきました。また三越劇場は、「女の一生」を新派公演として上演し、好評を博しました。

巡業公演では、恒例の「第二十五回四国こんびら歌舞伎大芝居」、公文協主催による「松竹大歌舞伎」東コース・中央コースがそれぞれ好稼働し、御園座をはじめ他劇場の公演製作も収益に寄与いたしました。

海外公演では、歌舞伎とシェイクスピアを結実させた「NINAGAWA十二夜」を、シェイクスピア劇の本拠地ロンドンで上演し、大喝采を得て国際文化交流に貢献いたしました。

シネマ歌舞伎は、「^{いれずみちようはん}刺青奇偶」「^{かいだんぼたんどうろう}牡丹亭」「怪談牡丹燈籠」

が公開され、堅調に推移いたしました。また、3年目を迎えたMETライブビューイングは、知名度のある作品が並び、人気を博しました。

不動産事業

不動産賃貸は、各ビルとも効率的運営に努めました。好調に稼働している東劇ビルに加え、昨年竣工の新宿松竹会館他、築地松竹ビル（ADK松竹スクエア）、有楽町センタービル（有楽町マリオン）等が順調に推移し、安定収入の確保に貢献いたしました。大船ショッピングセンターでは、8月に新規大型テナントが入居いたしました。

また、検討を重ねて参りました「歌舞伎座建替え計画」につきましては、8月末に当社と持分法適用会社の㈱歌舞伎座が共同で概要の発表を行いました。

その他の事業

プログラム・キャラクター商品は、「ヤッターマン」「ターミネーター4」「ハリー・ポッターと謎のプリンス」などの販売が順調に稼働いたしました。特に映像関連商品の専門通販サイトとして昨 autumn にオープンした「Froovie／フルービー」は、豊富な品揃えにより、会員数が1万名を超えるサイトへ躍進いたしました。

また、イベント事業においても、大手遊園地や大型百貨店からの定期的な受注等、幅広く展開いたしました。夏休みには、連結子会社の松竹芸能㈱の協力のもと、おぼけ屋敷を開催し、お客様から好評を得ました。



「ヤッターマン」
©「ヤッターマン」製作委員会



「HACHI 約束の犬」
©Hachiko, LLC



「勸進帳」（歌舞伎座さよなら公演 特別企画「好きな歌舞伎20選」第1位）©松竹株式会社



「NINAGAWA十二夜」（ロンドン パーピカン・シアター）
©松竹株式会社



松竹倶楽部ビル
（2010年3月竣工予定）



笑撃！ホラー屋敷2

■ 今後の見通し

今後のわが国経済は、次第に持ち直しに向かうことが期待されるものの、生産活動の低迷や厳しい収益環境、更に雇用情勢の一層の悪化が加わる等、依然として世界的金融危機の影響から先行きの不透明感の拭えぬ状態が続いております。

このような状況のもと、当業界も、消費者の価値観の多様化や異業種からの参入等、更に厳しい経営環境が続くことが予想されます。当社グループは、伝統の継承と革新に注力し、お客様に喜んでいただけるコンテンツやサービスを提供することにより、日本文化の発展と心豊かな社会の実現に貢献いたします。

映像関連事業は、映画製作・配給につきまして、人気シリーズの最後を飾る「釣りバカ日誌20 ファイナル」、山田洋次監督の最新作「おとうと」等、自社製作作品を中心に多彩なラインナップを展開いたします。今後、時代のニーズをとらえた作品を提供すべく、優れたパートナーとの連携を深め、自社企画選別力を強化し、バリエーションに富んだ作品の開発・営業を行って参ります。映画興行につきましては、「カムイ外伝」「おとうと」「スノープリンス 禁じられた恋のメロディ」等の自社配給作品や、「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズのピーター・ジャクソン監督の最新作「ラブリー・ボーンズ」、クリント・イーストウッド監督最新作の「インビクタス」等洋画期待作を公開いたします。また、サービスの面でもお客様に満足していただける劇場運営を目指します。テレビ制作では、好評の時代劇シリーズやサスペンスドラマに止まらず、新たな企画制作にも挑戦して参ります。また、権利ビジネスでの番組販売も積極的に行って参ります。映像ソフトは、自社配給作品の新作タイトル販売益の最大化を図るとともに、充実したラインナップをお届けできるよう努めます。



「スノープリンス 禁じられた恋のメロディ」
©2009映画「スノープリンス」製作委員会



「歌舞伎座さよなら公演」 カウントダウン時計
(平成21年5月1日設置) ©松竹株式会社

演劇事業は、豪華顔ぶれと魅力ある演目による「歌舞伎座さよなら公演」を中心とした歌舞伎をはじめ、ミュージカルや新派、松竹新喜劇、小劇場等お客様のニーズに応じたバラエティに富んだ舞台を提供いたします。また、歌舞伎を国内外に広めるべく、巡業や海外公演も積極的に展開し、演劇と映像が融合した「シネマ歌舞伎」「METライブビューイング」も引き続き充実した作品を提供して参ります。

不動産事業では、不動産不況、オフィス賃貸低迷の中、これまで以上に業界の動向にかかわる広範かつ的確な情報入手し、テナント戦略を創意工夫して参ります。開発に関しましては、東銀座の松竹倶楽部ビル、新木場保有地の賃貸用倉庫建設が共に着工しております。また、「歌舞伎座建替え計画」につきましては来年5月から着工の予定です。新しい歌舞伎座で歌舞伎が次代に向け継承・発展し、更に新たな日本の文化発信拠点として寄与すべく、今後とも計画を練り上げて参ります。

その他の事業は、個人消費の低迷により外食費・遊興費を抑制する傾向が続く中、飲食施設・各種娯楽施設において、消費意欲を掻き立てる魅力的なサービスを提供できるよう努めます。例年好評をいただいております「松竹カレンダー」は、「歌舞伎座さよなら公演」との連動企画として特別版を発売いたします。また、本年より、歌舞伎俳優の市川亀治郎が「検定大使」に就任いたしました「松竹歌舞伎検定」は、昨年度の4級に加え、3級を実施いたします。

以上、当社グループ一丸となって数々の課題に果敢に挑戦することにより、企業価値の向上に努めて参ります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



松竹歌舞伎検定 第2回実施概要
市川亀治郎検定大使就任記者会見

■ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)			
科 目	当第2四半期末 (平成21年8月31日)	科 目	当第2四半期末 (平成21年8月31日)
資産の部		負債の部	
流動資産	37,149,086	流動負債	38,393,947
現金及び預金	13,845,721	支払手形及び買掛金	8,557,898
現金及び預金（責任財産限定対象）	719,183	短期借入金	757,200
信託預金（責任財産限定対象）	3,488,904	一年以内の償還予定の社債	1,800,000
受取手形及び売掛金	6,041,091	一年以内の返済予定長期借入金	19,532,176
有価証券	4,500,000	一年以内の返済予定長期借入金（責任財産限定）	725,000
商品及び製品	1,956,435	未払法人税等	326,280
仕掛品	2,224,924	賞与引当金	309,090
原材料及び貯蔵品	77,044	その他	6,386,301
その他	4,381,730	固定負債	61,566,041
貸倒引当金	△ 85,948	長期借入金	23,240,456
固定資産	121,853,440	長期借入金（責任財産限定）	29,795,000
有形固定資産	97,147,189	退職給付引当金	1,116,413
建物及び構築物	21,411,970	役員退職慰労引当金	584,377
信託建物（責任財産限定対象）	15,304,916	その他	6,829,794
設備	15,065,854	負債合計	99,959,988
土地	22,964,586	純資産の部	
信託土地（責任財産限定対象）	18,751,834	株主資本	57,490,683
その他	3,648,025	資本金	28,143,695
無形固定資産	2,658,364	資本剰余金	25,199,857
のれん	989,793	利益剰余金	5,367,832
その他	1,668,570	自己株式	△ 1,220,701
投資その他の資産	22,047,886	評価・換算差額等	776,773
投資有価証券	11,305,959	その他有価証券評価差額金	776,773
その他	10,910,240	新株予約権	74,036
貸倒引当金	△ 168,314	少数株主持分	701,554
繰延資産	509	純資産合計	59,043,048
資産合計	159,003,036	負債純資産合計	159,003,036

連結損益計算書

(単位：千円)	
科 目	当第2四半期累計期間 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
売上高	46,493,838
売上原価	27,261,388
売上総利益	19,232,450
販売費及び一般管理費	17,287,332
営業利益	1,945,117
営業外収益	297,172
受取利息及び配当金	132,172
負ののれん償却額	29,186
その他	135,812
営業外費用	1,005,187
支払利息	768,955
借入手数料	86,104
持分法による投資損失	50,932
その他	99,195
経常利益	1,237,102
特別利益	20,624
貸倒引当金戻入額	20,624
特別損失	558,650
固定資産除却損	136,757
固定資産臨時償却費	228,215
投資有価証券評価損	12,939
減損損失	180,737
税金等調整前四半期純利益	699,076
法人税、住民税及び事業税	234,001
法人税等調整額	△ 371,160
少数株主利益	18,407
四半期純利益	817,828

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

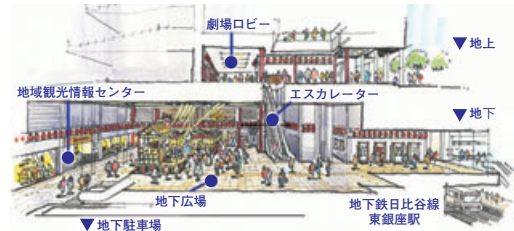
(単位：千円)	
科 目	当第2四半期累計期間 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,548,921
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,801,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,833,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5
現金及び現金同等物の増減額	1,581,473
現金及び現金同等物の期首残高	11,610,760
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,396
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 57,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,143,285

歌舞伎座建替え計画 概要発表



外観イメージ

劇場内部のイメージ



これまで松竹(株)と(株)歌舞伎座が検討して参りました「歌舞伎座建替え計画」について、その概要を8月26日に発表致しました。

今回の建替え計画の主眼は、歌舞伎の殿堂「歌舞伎座」の継承です。世界で唯一の歌舞伎専用劇場「歌舞伎座」の再生と機能向上を目指します。地下鉄東銀座駅と地下通路で直結し、施設内のバリアフリー化やトイレの増設など、お客様にやさしい劇場に生まれ変わります。また、新たな魅力あふれる文化施設や最先端のオフィスビルを併設し、銀座のランドマークとしての新たな価値も向上させていく考えです。ご観劇のお客様以外にもお越し頂ける「(仮称)ギャラリー」、屋上庭園に面した「(仮称)国際交流センター」、幅広い世代に向けた教育施設「(仮称)歌舞伎アカデミー」など新たな歌舞伎ファン層の拡大を狙います。建物地下には「地下広場」を新設し、災害時には防災広場にもなります。建物周辺の緑化整備を行ない、建物自体の環境負荷低減も配慮して参ります。

新しい歌舞伎座は、世界に向けた日本文化の新たな発信拠点にしたいと考えます。松竹グループとして一層の努力をして参りますので、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

—計画概要—	
所 在 地：東京都中央区銀座四丁目12番 ほか 用途地域等：商業施設、防火地域、都市再生緊急整備地域 銀座地区地区計画（商業機能更新地区）、高度利用地区（銀座地区） 開発手法：都市再生特別地区における都市計画 敷地面積：約6,790㎡（都市計画道路 約190㎡を除く） 用 途：劇場、事務所、店舗、駐車場 ほか 構造規模：地下4階、地上29階、塔屋2階 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 延床面積：約93,900㎡ 高 さ：約135m（最高高さ約145m） 容 積 率：1,220% 駐車場台数：自動車約280台、自転車約50台、自動二輪約20台	工 期：平成22年5月着工（予定） 平成25年春竣工（予定） 設計監理：(株)三菱地所設計＋隈研吾建築都市設計事務所による共同設計 劇場監修：杉山隆建築設計事務所 今里隆 事業主体：劇場部分 株式会社歌舞伎座 オフィス部分 松竹株式会社100%出資SPC 総事業費：約430億円 —うち劇場部分の概要— 客 席 数：現存（第四期）と同程度を想定 【参考：現存は1,859席 一幕見席除く】 桟敷席、1階席、2階席、3階席、一幕見席 舞台寸法：現存（第四期）と同程度を想定 【参考：現存は間口27.5×奥行20.6×高さ6.3m】 事 業 費：約180億円

おとうと

山田洋次監督10年ぶりの現代劇の集大成、最新作『おとうと』が遂に完成。

家族の絆とは、人生とは、別れとは何かを切々と問いかける、笑いと涙の物語。

『家族』、『幸福の黄色いハンカチ』、『息子』、『学校』シリーズ、そして日本映画の金字塔『男はつらいよ』シリーズと、移り変わる世相と日本の家族を描き続けてきた山田監督が、未曾有の大不況の中、混迷する現代に生きる人々へ贈る、希望と再生の物語が誕生しました。

堅実に生きてきた姉（吉永小百合）と、何かと問題ばかり起こす弟（笑福亭鶴瓶）との再会と別れを優しく切々と謳いあげる、笑いと涙にあふれた物語。戦後の昭和に生まれ育った姉と弟の切りようにも切れない絆を通して、私たちがスクリーンにみるのは、現在とこれからの日本の家族の姿です。オマージュを捧げる市川崑監督の『おとうと』から半世紀を経過した2010年1月、待望の公開を迎えます。

喧嘩したり、許したりを繰り返す家族というのは厄介なもの。しかし、どんなに厄介であろうとも、家族はかけがえのない大切なもの。

家族に会いたくなる、人恋しくなる——そんな映画『おとうと』に、どうぞご期待ください。

吉永小百合 笑福亭鶴瓶 蒼井 優 加瀬 亮

監督：山田洋次 脚本：山田洋次・平松恵美子
音楽：冨田 勲 製作：「おとうと」製作委員会
制作・配給：松竹株式会社

2010年1月30日(土) 全国ロードショー



©2010「おとうと」製作委員会

会社の概要

商 号 松竹株式会社
設 立 大正9年11月
資 本 金 28,143,695,022円
従業員数 610名

本社、支社および営業所
本 社 東京都中央区築地四丁目1番1号
電話 03-5550-1533（総務課）
関西支社（大 阪）
九州営業所（福 岡）

当社ホームページ
http://www.shochiku.co.jp/

役 員

代表取締役会長 大 谷 信 義
代表取締役社長 迫 本 淳 一
専 務 取 締 役 野 田 助 嗣
専 務 取 締 役 安孫子 正
常 務 取 締 役 中 島 厚
常 務 取 締 役 白 井 信 彦
常 務 取 締 役 細 田 光 人
取締役相談役 上 條 清 文
取 締 役 油 谷 昇
取 締 役 荒 牧 大四郎
取 締 役 武 中 雅 人
取 締 役 井 手 良 樹

常 勤 監 査 役 岡 田 敏 明
監 査 役 柏 木 俊 彦
監 査 役 中 川 勝 弘

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松 竹 衣 装 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備

- ・松 竹 関 西 サ ー ビ ス (株)：不動産管理・清掃
- ・(株)ショウビズスタジオ：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生

- ・中 映 (株)：浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- ・松 竹 芸 能 (株)：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作

- ・(株) 衛 星 劇 場：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】

- ・(株)松竹京都撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負

- ・(株)松竹デジタルセンター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館（シネマコンプレックス）の開発・運営

- ・(株)ト ラ イ メ デ ィ ア：劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等

- ・松 竹 音 楽 出 版 (株)：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌 舞 伎 座 舞 台 (株)：演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)松竹ニューセレクト：複合映画館「MOVIX本牧」（8スクリーン）の映画館運営

- ・(株) 関 西 美 術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日 本 演 劇 衣 装 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)ムービーチャンネル：CSのPPV放送局、ソフト製作・編集【POWER PLAT'S】

- ・(株)歌 舞 伎 チ ャ ン ネ ル：CS・CATV放送局、ソフト製作・編集【歌舞伎チャンネル】

- ・(株)松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント

- ・匿名組合築地ビルキャピタル：ADK松竹スクエアの賃貸借および管理

持分法適用会社

- ・ア ナ ザ ヘ ヴ ン (株)：映画の製作および配給、並びにその請負・販売
- ・(株)サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・札幌シネマフロンティア(株)：複合映画館「札幌シネマフロンティア」（12スクリーン）の運営

- ・(株)イ ヤ ホ ン ガ イ ド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・日 本 映 像 振 興 (株)：映像関連イベントの企画・運営
- ・(株) 歌 舞 伎 座：歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新 橋 演 舞 場 (株)：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 125,695,578株（自己株式994,926株を含みます。）
株 主 数 19,311名（前期末比583名減少）

大株主の状況（上位10名）

株 主 名	持 株 数	出 資 比 率
株式会社歌舞伎座	4,802,000株	3.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4G）	4,693,000	3.73
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500,000	3.58
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344,000	3.46
セコム株式会社	3,700,000	2.94
三井物産株式会社	3,700,000	2.94
株式会社大林組	3,600,800	2.86
大成建設株式会社	3,444,000	2.74
西松建設株式会社	3,288,000	2.62
株式会社TBSテレビ	2,542,000	2.02

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	映画優待期間	演劇優待期間
毎年2月末日	毎年6月1日～同年11月30日	毎年6月分～同年11月分
毎年8月末日	毎年12月1日～翌年5月31日	毎年12月分～翌年5月分

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）	
1,000株以上	80ポイント	（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント	（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント	（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント	（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント	（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント	（140ポイント）

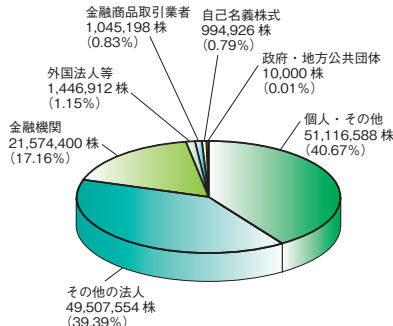
※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様につき20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）から利用可能です。「プラチナシート」「プラチナルーム」はご利用になれません。

【所有者別株式分布表】



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711（フリーダイヤル）

単元株式数 1,000株

公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

0120-244-479（三菱UFJ信託銀行 本店証券代行部）
0120-684-479（三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部）
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式（1,000株未満の株式）をお持ちの株主様は、1単元に不足する数の株式を当社から買い増し、単元株とすることができます。また、簡単なお手続きにより、単元未満株式を時価にて当社にご売却いただくこともできます。

お手続きの詳細は、上記口座管理機関にてご案内いたしますので、ご希望の株主様はお申し出下さい。

また、証券会社に口座をお持ちの株主様で、単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、現在ご利用されている証券会社の口座に単元未満株式を振り替えることにより、口座を一本化することができます。

お手続きの詳細は、三菱UFJ信託銀行にてご案内いたしますので、ご希望の株主様はお申し出下さい。